

人と共存・協調して働く車輪移動形サービスロボット

SmartPalV(スマートパル ファイブ)が2008年度グッドデザイン賞を受賞

当社のサービスロボットSmartPalV(スマートパル ファイブ)が、財団法人日本産業デザイン振興会が主催する「2008年度グッドデザイン賞」の「新領域-先駆的、実験的なデザイン活動」部門においてグッドデザイン賞を受賞しました。

2008年度グッドデザイン賞は、商品やサービスの受けてであるユーザーの立場を重視した審査が行われました。幅広い領域から選ばれた受賞対象には、「近い将来の生活像や次代の暮らしを導くデザイン」という視点が反映されています。

SmartPalVは人と共存・協調して働く車輪移動形サービスロボットです。近年、少子高齢化による深刻な人手

不足が懸念される一方、「快適」「便利」「安全」といった生活の質的向上が求められています。サービスロボットによる業務負荷、業務コストの低減を通して、生活の質的向上に寄与したいという想いからSmartPalVが開発されました。

片腕あたり2kgという実用的な可搬重量を持ち、腰部を屈曲させて床に置かれた物を拾い上げて持ってくることができるなど、物理的なサービスにより人の役に立つことを主眼として開発しました。外観は人の頭部に相当する部分をあえて設けず、「シンプルで無機質なイメージを出すことにより、「役立つ道具(ツール)」としての印象を与えるデザインを採用しています。腕・手・移動(車輪)・腰・環境認識などの機能単位でユニットがされ、容易に追加・変更が可能であり、用途に応じて最適なユニットを組合せることで、サービス分野の多様なニーズに柔軟に対応させることができます。

当社は、今後とも社会のニーズに合致した人に優しい技術・製品を提供しつづけ、人々の豊かな暮らしに貢献することを目指してまいります。



GOOD
DESIGN



審査委員による評価コメント

2005年愛知万博のプロトタイプロボット展でも公開されたNEDO支援の先進ロボットが、更に磨きをかけてきた。万博では未来の喫茶店のマスター的なタスクを軽妙な合成音声で話しながら、コーヒーやお茶を接客していた。本ロボットは、接客など人とのインタラクションを主目的としてきた。様々な使用環境下での安全にクリアすれば、加速的な実用化が期待される。

- 「グッドデザイン賞」公式ホームページ:
<http://www.g-mark.org/>

- SmartPalVについての詳しい情報:
<http://www.yaskawa.co.jp/newsrelease/2007/25.htm>

お問い合わせ先: 東京総務部 広報グループ Tel 03-5402-4564 Fax 03-5402-4580

サービスロボットとメカトロ機器分野での連携を強化 上海交通大学と連合実験室を開設

当社は、上海交通大学（中国上海市）と、同学内に「上海交通大学－安川電機 サービスロボット&メカトロニクス連合実験室（SJTU-YASKAWA Service Robot & Mechatronics Laboratory）」（以下、連合実験室といいます。）を開設し、8月29日に開設式を行いました。

連合実験室は、上海交通大学工程訓練センター内に設けられ、当社の最先端ロボットや最新メカトロ機器を設置します。この連合実験室では、サービスロボット分野の共同研究、成果の技術実証を行うとともに、メカトロ技術者の育成を目的としてメカトロ機器の学習、実習を支援します。また連合実験室の開設を機に、学内でのロボットコンテストの開催支援、優秀な学生等への奨励金授与なども予定しています。

上海交通大学は中国屈指の理工系大学

であり、当社はこれまでも産業用ロボットなどを通じて長年協力関係にありました。サービスロボットのアプリケーション分野の共同研究なども実施しており、連合実験室を開設することでアプリケーション分野での研究を更に進めてまいります。またこれらの上海交通大学工程訓練センターでの活動を通して、メカトロニクス技術者の育成を支援してまいります。



サービスロボット実験室



開設式（契約書署名の交換）



上海交通大学工程訓練センター

お問い合わせ先: 技術開発本部 開発研究所ロボット技術開発グループ Tel 093-571-6024 Fax 093-571-6028

陸上部NEWS

詳細情報は <http://www.yaskawa.co.jp/activities/track-field/index.html> で公開しています。

梅雨・猛暑・残暑と長距離選手にとって厳しい7～9月、当社含め殆どの実業団チームが、北海道などの涼しい地域で走り込みを実施しました。この季節、選手にとってはスタミナ養成時期および休養時期に設定されているため、出場試合数は少なくなります。

この中で8月31日(日)に全国TV中継された北海道マラソンが行われ、当社から下森直、中本健太郎、立石慎士の3選手が出場しました。中盤まで全員が先頭集団でレースを進め、その後、中本選手が2月の延岡西日本マラソンで優勝争いを演じた清水将也選手(旭化成)と激しい2位争いを繰り広げました。結果、ラスト600mで粘り勝ちし、2位を確保。初マラソンが3位、今回が2位でしたので、

次回は三度目の正直で優勝といきたいところです。

また、9月下旬に行われた全日本実業団陸上のジュニア男子の部門で新人 種子野(タネノ)輝夫選手が5000mで優勝、1500mで2位という好成績を納めました。5月の九州実業団陸上に続く力強い走りを披露し、将来に期待を持たせてくれます。

さて、この記事が発行される頃には九州一周駅伝の最中になることでしょう。その後、ニューイヤー駅伝の地区予選となる九州実業団毎日駅伝、ロードレースなど本格的な長距離シーズンに突入します。今シーズンも皆様のご期待に応えられるようチーム一丸となって頑張りますので応援をよろしく願います。



今シーズン2回目のマラソンでも粘りの走りを見せた中本選手。(昨年の九州一周駅伝より)

選手の声:

今回、北海道マラソン2位という成績でしたが、まだ多くの課題があるレース内容だったと思います。この結果に満足することなく、色々と試行錯誤しながら練習に取り組み、より高い目標を目指して頑張りたいと思います。

中本 健太郎

◆2008年8月～9月の主な戦績

日程	大会名	実績
8月 31日	北海道マラソン	中本選手2位、立石選手20位、下森選手24位。
9月26～28日	全日本実業団対抗 陸上競技選手権大会	男子10000m、岡田選手20位、飛松選手26位、北島選手72位。 種子野選手、Jr男子5000m優勝、同1500mで2位。